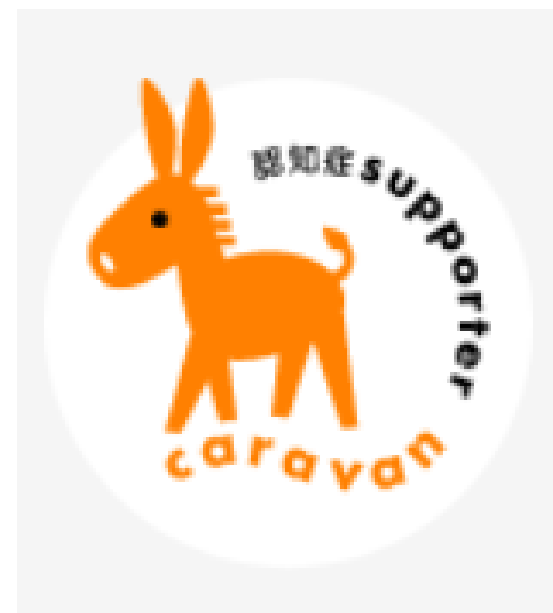


認知症サポーター 養成講座

2025.8.26

北海道介護福祉学校 鈴木恵美



なぜ認知症を学ぶのか？

認知症に対する**誤解**や**偏見**を無くし
誰もが安心して暮らせる町にする

他人ごとではなく、我がこととして
考える

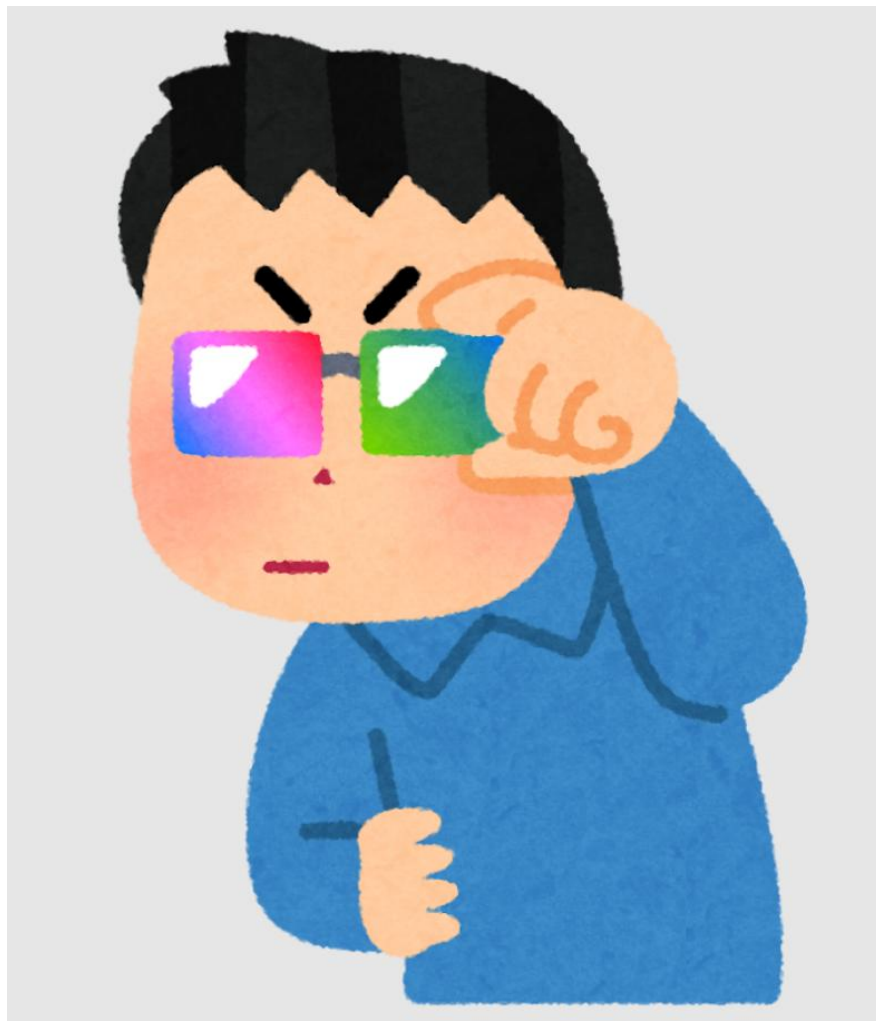


認知症の人やその家族を応援する

誤解や偏見はなぜ生まれる？

無知

恐怖



無関心

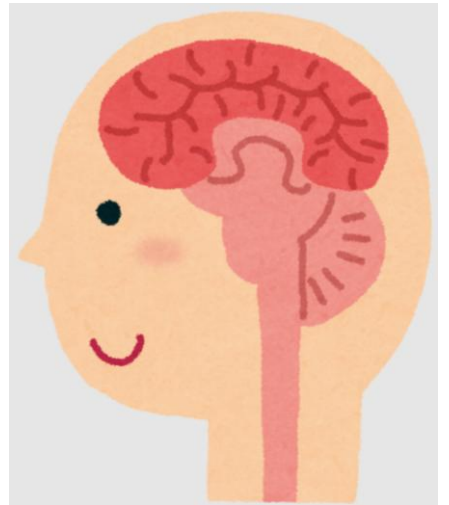
認知症の正しい理解



認知症とは

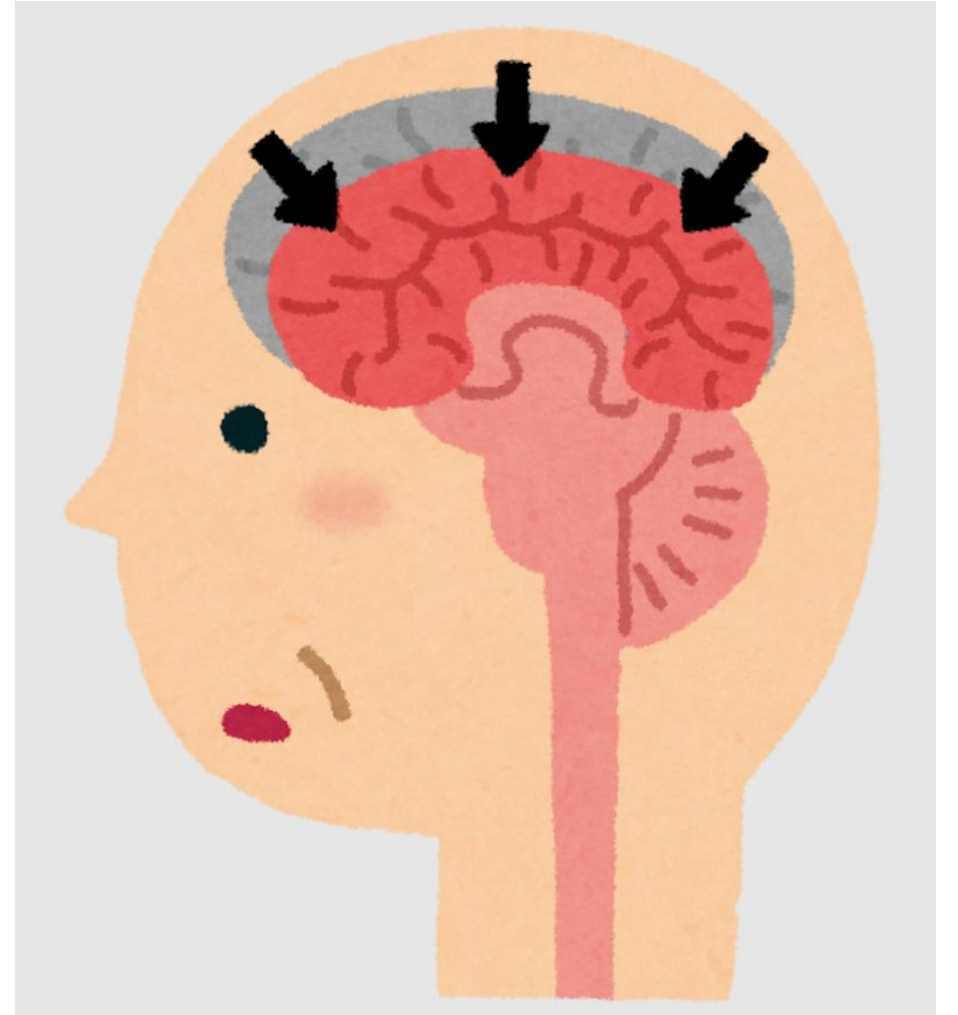
脳は、人間の活動をコントロール
脳の変化（脳細胞の機能低下）に
よって、日常生活に支障をきたし
た状態のこと。

※病名ではない



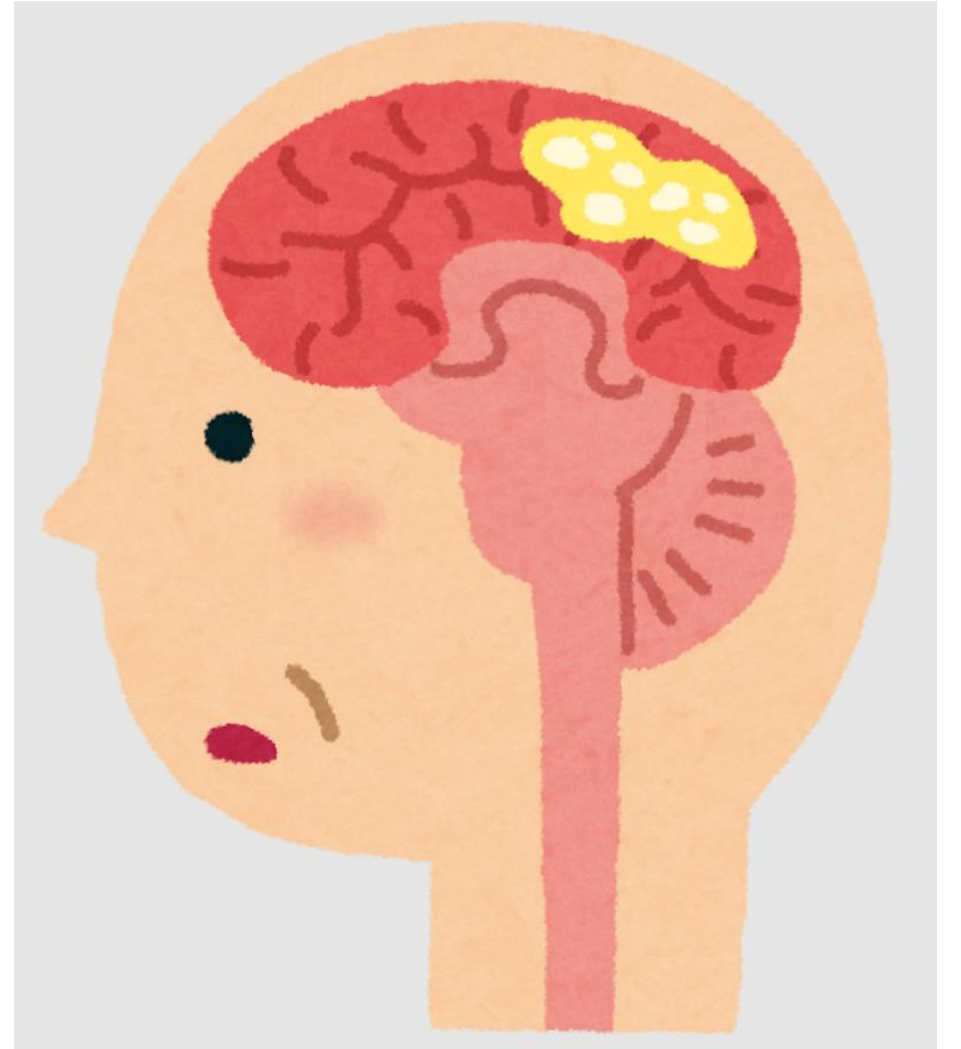
アルツハイマー型認知症

- ・ 認知症の中で1番多い
- ・ 脳が萎縮する



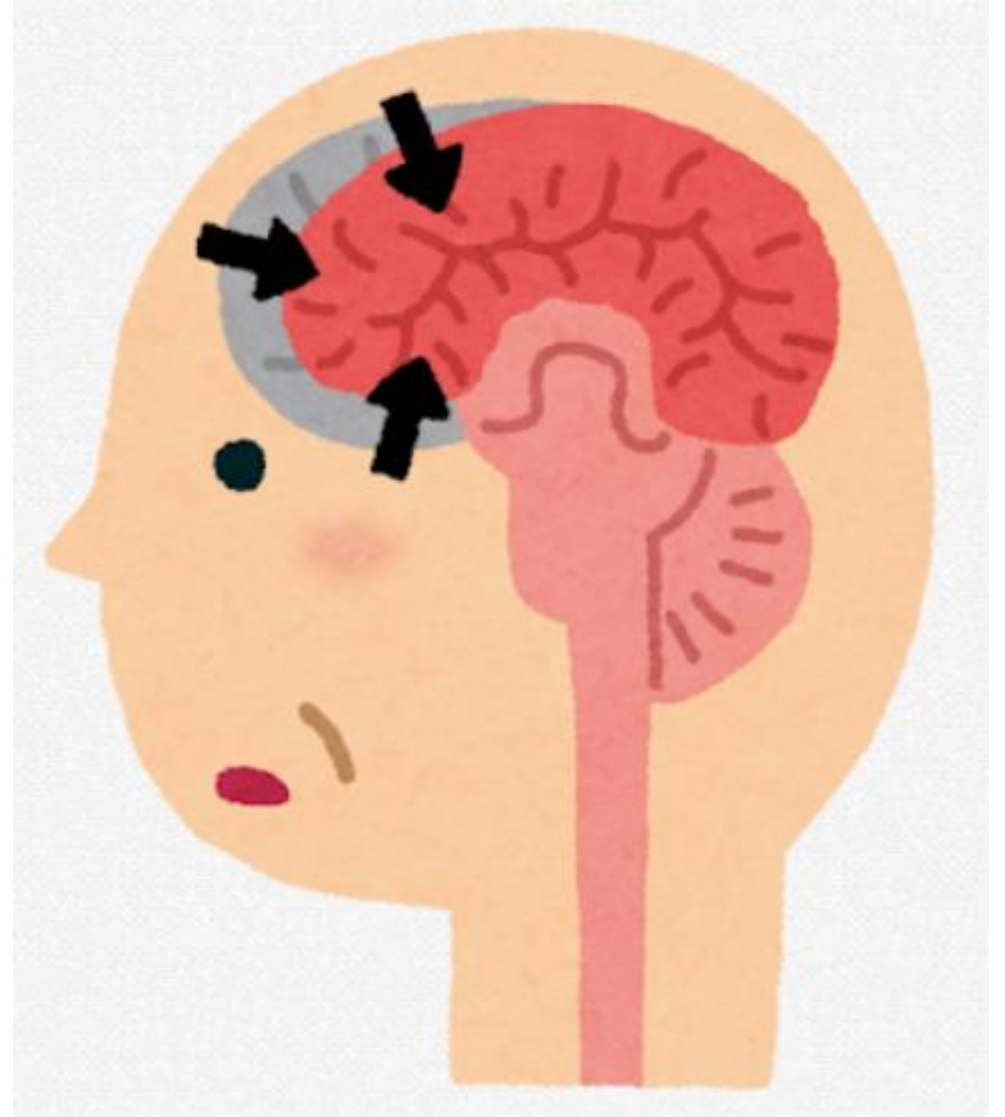
レビー小体型認知症

- ・ パーキンソン症状
- ・ 幻視
- ・ 症状の変動が大きい



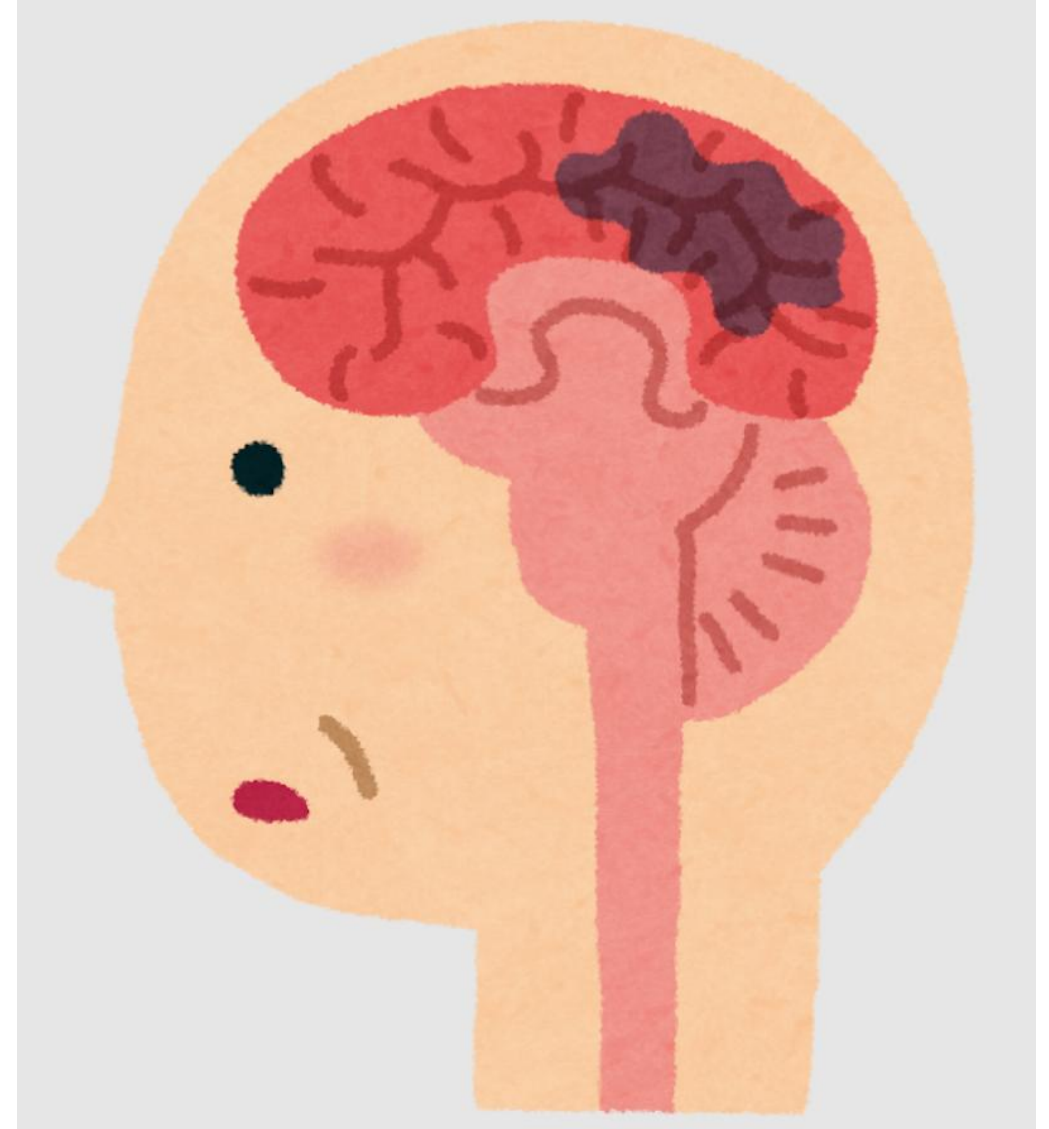
前頭側頭型認知症

- ・ 行動の変化
- ・ 我慢がきかない
- ・ 言語障害



脳血管性認知症

- ・ 脳卒中が原因
- ・ 意欲低下
- ・ 障害された部位によって症状が変化



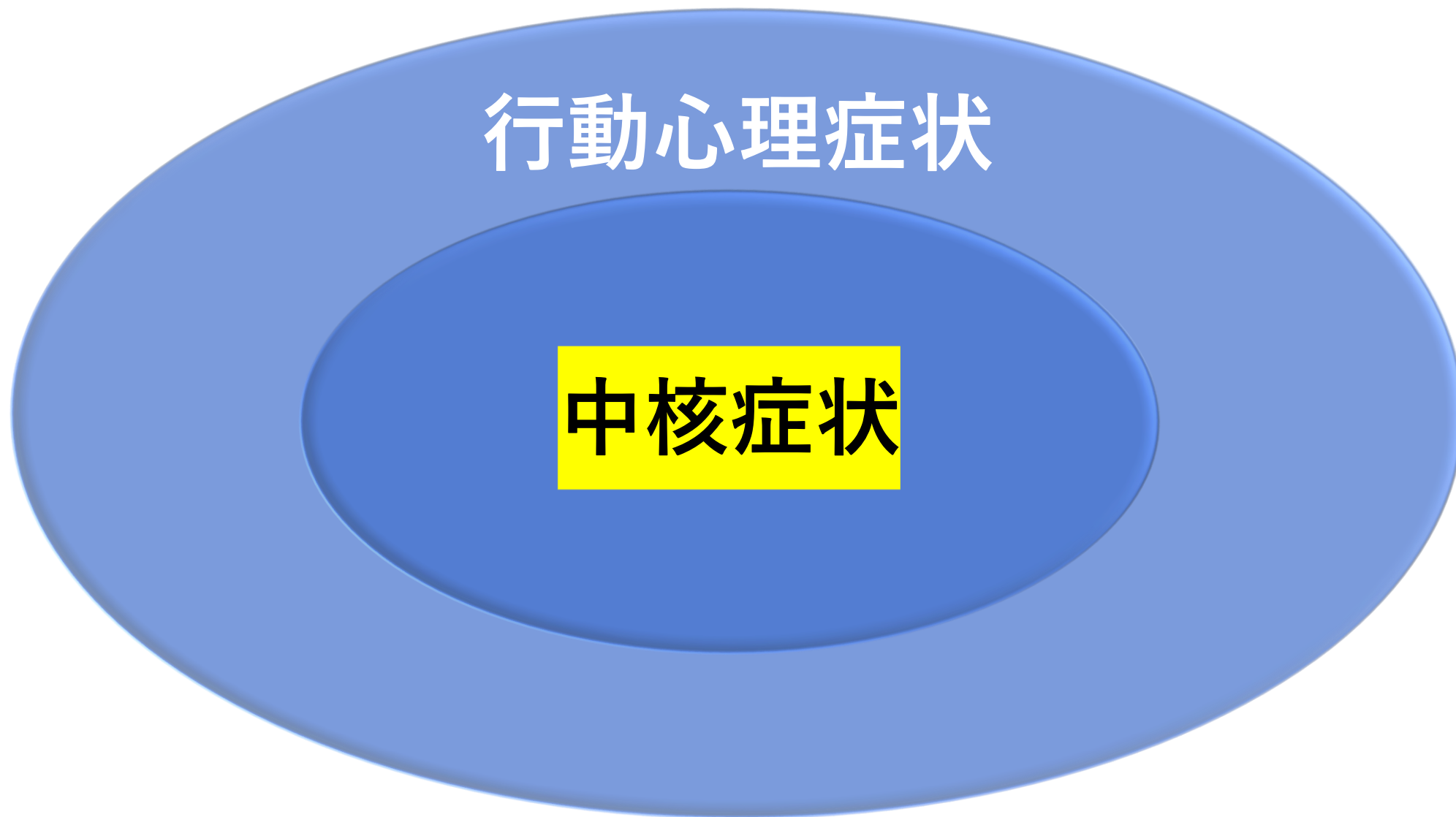
治療可能な疾患（認知症の症状を示す疾患）

- ・ 脳腫瘍
- ・ 慢性硬膜下血腫
- ・ 甲状腺疾患など



早期発見・早期治療！

認知症の症状



認知症の中核症状

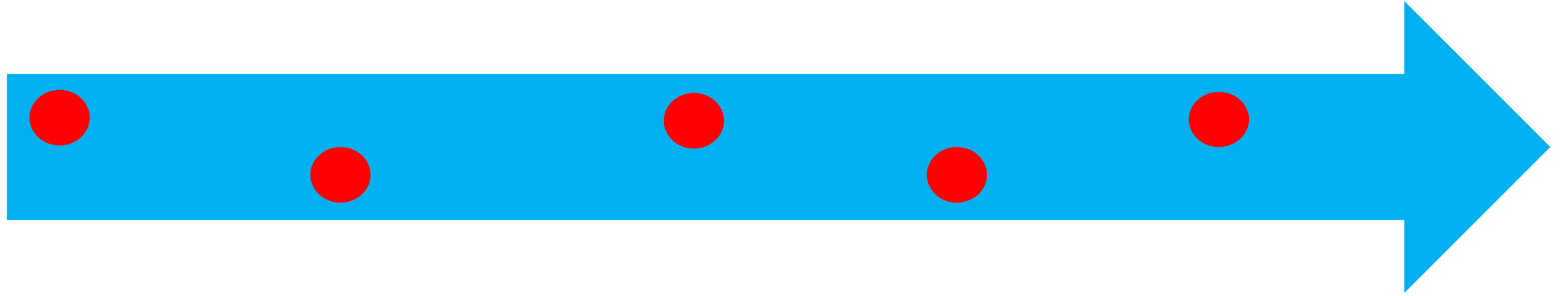
①記憶障害

- ・ 同じことを何度も聞く
- ・ 探し物が増える



物忘れと認知症の違い

物忘れ



認知症



認知症の中核症状

②見当識障害

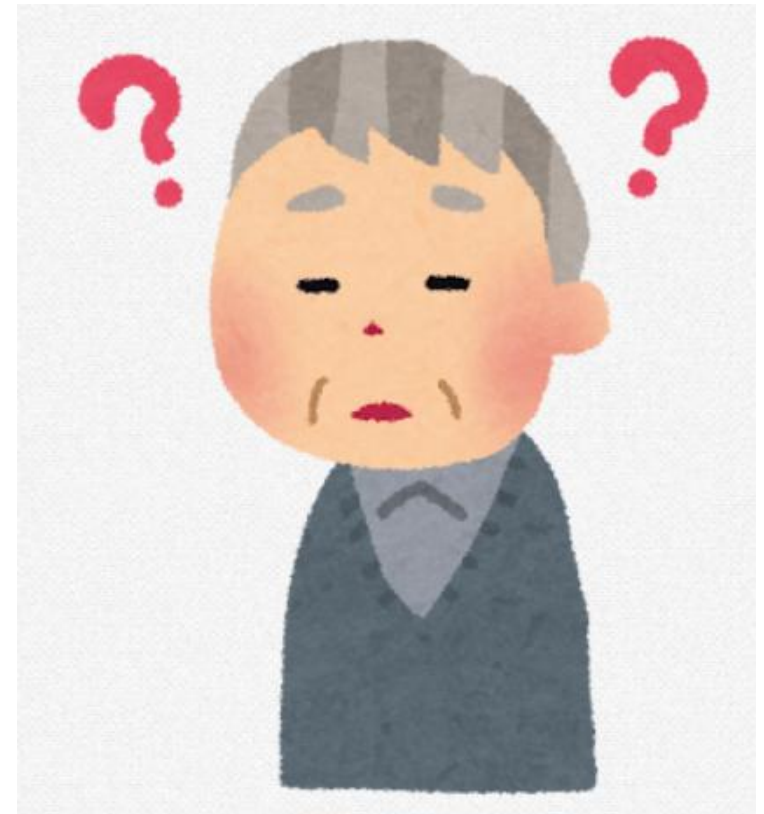
- ・ 時間、場所、人がわからない



認知症の中核症状

③「理解」「判断力」の低下

- ・考えるスピードが遅くなる



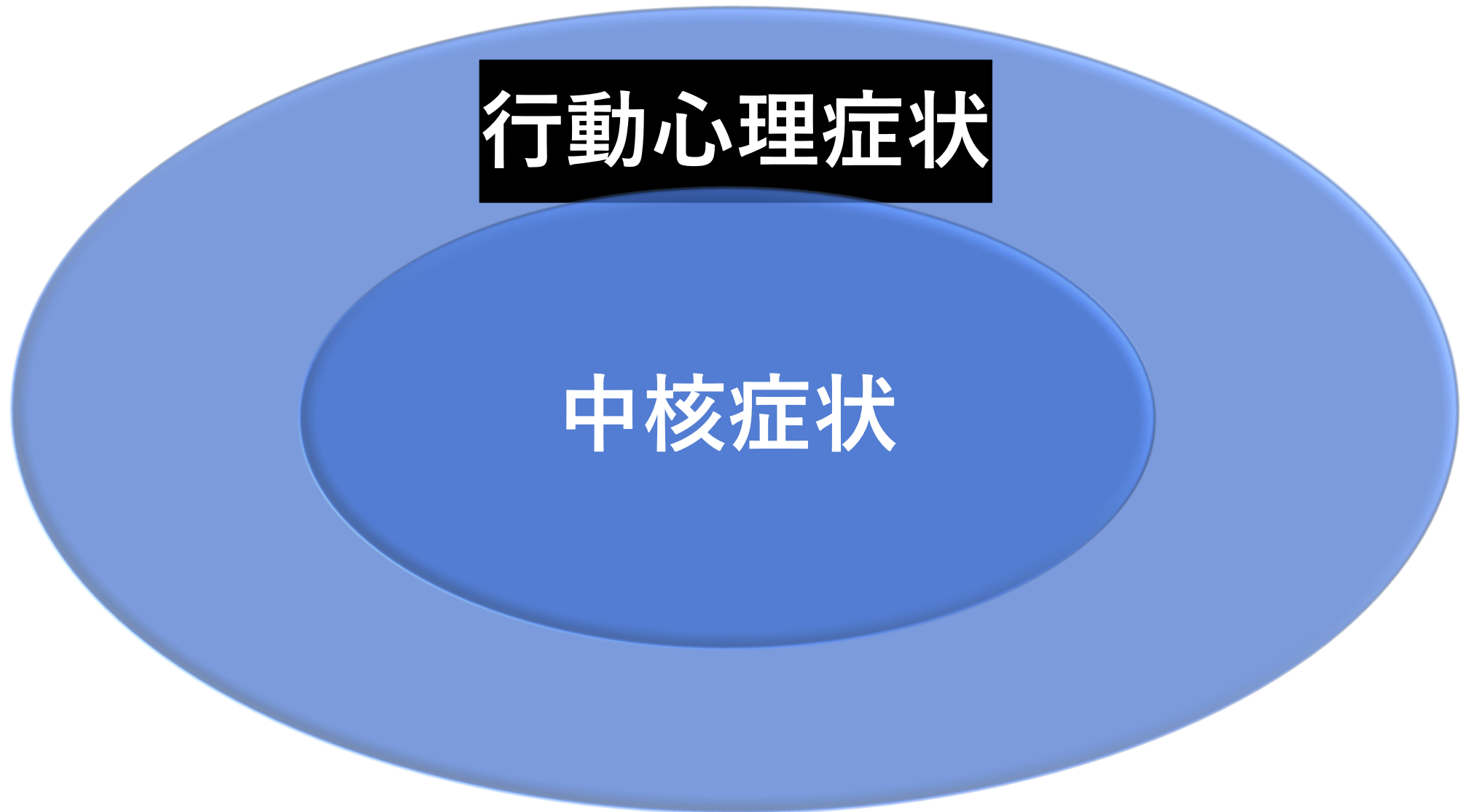
認知症の中核症状

④実行（遂行）機能障害

- ・計画通りにできない
- ・例：料理
着替え など



認知症の症状



行動症状

- ・ 暴力
- ・ 暴言
- ・ 徘徊
- ・ 拒絶
- ・ 不潔行為
など

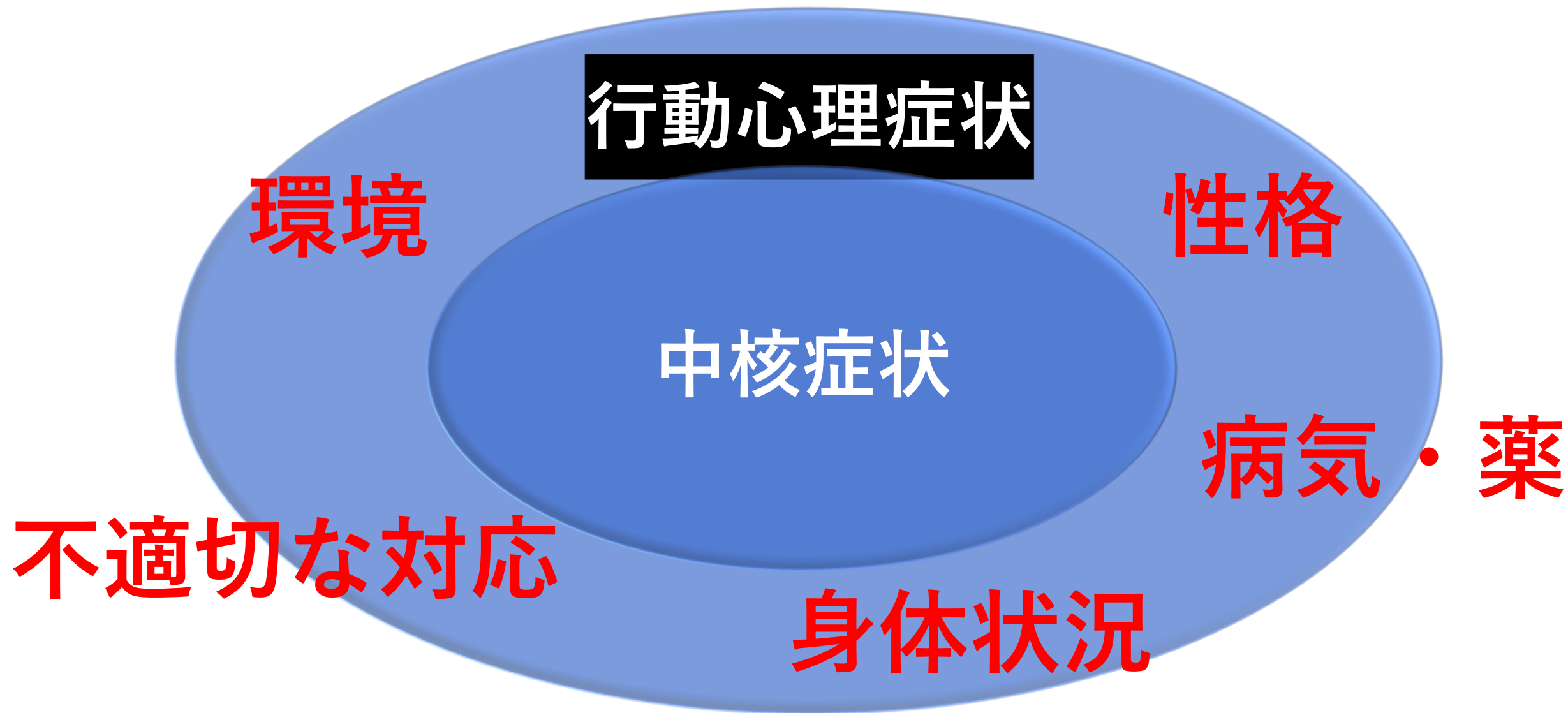


心理症状

- ・ 抑うつ
- ・ 不安
- ・ 幻覚
- ・ 妄想
- ・ 睡眠障害
など



認知症の症状



必ず原因がある

- ・ 対応の工夫で予防できることがある
- ・ 対応が難しい場合は、専門職へ相談！



①ものの盗られ妄想

原因：しまい忘れきっかけの妄想

誰に取られたと思うか？

：疑われるのは一番身近な人

対応：一緒に探し、本人に見つけて
もらう

②徘徊（歩き回る）

原因：記憶障害や見当識障害など

目的がないわけではない！

対応：理由を考え、対応する

- 例）
- ・暗くなっていつもと違う景色に見えて場所がわからなくなる。
 - ・何を買いに来たか忘れる。どこの店に行くか思い出せない。
 - ・実行機能障害により、計画的にバスに乗れず、目的の場所がわからなくなった。

対応のポイント：3つの「ない」

①驚かせない

②急がせない

③自尊心を傷つけない



認知症の人のこころ

- ・ 記憶障害による失敗
- ・ できていたことができなくなる



「自分に何かが起きている」
誰よりも苦しいのはご本人

認知症の人の家族こころ

自分の家族が認知症になってたら
どんな気持ちだろう？

- ・ 自分のことを忘れたり、
- ・ できないことが増えたり
- ・ 怒りっぽくなったり、

かかわる人の心がまえ

認知症になる 1 番の原因は…



歳を取ること

さりげなく自然に関わる（普通）

こころのバリアフリー

正しい理解

さりげない
支援



見守り

認知症サポーターのできること

- ①本人・家族の**理解者**であること
- ②実際に支援ができなくても、
気づいたことがあったら**つなぐ**
(地域包括支援センターなど)